

## 授業計画詳細 / Course schedule

回 (日時) Time (date and time)	主題と位置付け (担当) Subjects and instructor's position	学習方法と内容 Methods and contents	備考 Notes
1	第1部 総論 第1回 民事訴訟法の世界への扉		
2	第2部 訴訟の主体 第2回 裁判所	(裁判権、管轄、移送、除斥・忌避・回避)	
3	第3回 当事者	(当事者の概念と確定、当事者能力、訴訟能力、訴訟上の代理)	
4	第3部 訴え 第4回 訴え	(概念と種類、訴えの提起)	
5	第5回 訴訟要件	(訴えの利益、当事者適格〔第三者の訴訟担当〕)	
6	第6回 訴訟物		
7	第4部 訴訟の審理 第7回 審理における当事者の弁論活動と裁判所の役割	(処分権主義、弁論主義、職権進行主義)	
8	第8回 口頭弁論とその準備	(口頭弁論に関する諸原則等)	
9	第9回 証拠	(証拠、証拠の評価、証明責任)	
10	第5部 訴訟の終了 第10回 当事者の行為による訴訟の終了	(訴えの取下げ、請求の放棄・認諾、訴訟上の和解)	
11	第11回 裁判所の終局判決による訴訟の終了	(終局判決、既判力の客観的範囲、主観的範囲、時的限界)	
12	第6部 上訴・再審 第12回 上訴・再審		
13	第7部 複雑な訴訟形態 第13回 請求の客観的複数	(訴えの併合、訴えの変更、反訴、中間確認の訴え)	
14	第14回 請求の主観的複数	(共同訴訟、訴訟参加〔補助参加、独立当事者参加〕)	
15	第8部 特別の手続 第15回 略式訴訟手続	(手形・小切手訴訟、少額訴訟手続、督促手続等)	